

第 38 回千葉大学医学部産婦人科関連病院臨床研究会プログラム

日時:平成 30 年 07 月 06 日(金) 午後 07 時 00 分から

場所:千葉市総合保健医療センター 4 階会議室

演題 19:00~20:00

座長 成田赤十字病院 清水久美子

演題 1 「待機的管理を行った胎盤遺残の一例」

発表者:糸井瑞恵

共同演者:岡嶋祐子、關公美子、藤田久子、木嶋由理子

所属:千葉医療センター

演題 2 「寡受診妊婦で開腹後に子宮破裂が判明した一例」

発表者:佐々木 沙綾

共同演者:真田 道夫、森本 沙知、長澤 亜希子、片山 恵里、今泉 翠、藤村 尚代、海野 洋一

所属:松戸市立総合医療センター

演題 3 「妊娠 19 週の腹腔妊娠において、造影 CT 及び MRI 検査が胎盤の評価に有用であった 1 例」

発表者:安部真希子

共同演者:木村博昭、廣岡千草、春成淳平、河原井麗正、平敷好一郎

所属:国保直営総合病院君津中央病院

演題 4 「社会復帰した未成年の抗 NMDA 受容体脳炎の一例」

発表者:大塚聡代

共同演者:小幡新太郎、渋井亮介、馬場七織、山ノ内美紀、杉田達哉、清水久美子

所属:成田赤十字病院